

商工建設常任委員会資料

令和 7 年 6 月 1 8 日

商工観光労働部

目 次

1 予算議案

(ページ番号)

- 議案第 1 号 令和 7 年度宮崎県一般会計補正予算（第 1 号） 03-07

2 報告事項

- 令和 6 年度宮崎県繰越明許費繰越計算書 08-09

3 その他報告事項

- 令和 6 年度の企業立地の状況について 10-11
- 2025大阪・関西万博における九州 7 県合同催事について 12-13
- 次期指定管理候補者の選定について（宮崎県屋外型トレーニングセンター） 14-17

1 予算議案

【議案第 1 号】

令和 7 年度宮崎県一般会計補正予算（第 1 号）（歳出予算）

商工観光労働部

○各課補正予算額一覧

（単位：千円）

区分	令和 7 年度						令和 6 年度	
	補正前の額	補正額	財源内訳			補正後の額	当初予算額	最終予算額
			国庫支出金	その他特定	一般財源			
商工観光労働部	48,815,361	80,000	29,000	48,100	2,900	48,895,361	49,417,531	49,680,334
一般会計	48,047,480	80,000	29,000	48,100	2,900	48,127,480	48,980,173	49,219,236
商工政策課	40,502,802	0	0	0	0	40,502,802	41,959,105	41,826,895
企業振興課	1,738,323	0	0	0	0	1,738,323	1,471,147	1,831,696
雇用労働政策課	1,608,625	0	0	0	0	1,608,625	1,650,935	1,393,483
企業立地課	1,131,136	0	0	0	0	1,131,136	881,964	1,008,378
観光推進課	1,453,911	0	0	0	0	1,453,911	1,351,301	1,534,154
スポーツランド推進課	709,896	80,000	29,000	48,100	2,900	789,896	712,480	667,083
国際・経済交流課	902,787	0	0	0	0	902,787	953,241	957,547
特別会計	767,881	0	0	0	0	767,881	437,358	461,098
商工政策課	611,245	0	0	0	0	611,245	285,895	276,800
観光推進課	156,636	0	0	0	0	156,636	151,463	184,298

1 予算議案（スポーツランド推進課：令和7年度宮崎県一般会計補正予算（第1号））

令和7年6月補正歳出予算説明資料（目別総括表） スポーツランド推進課

（単位：千円）

区分	令和7年度						令和6年度	
	補正前の額	補正額	財源内訳			補正後の額	当初予算額	最終予算額
			国庫支出金	その他特定	一般財源			
スポーツランド推進課 計	709,896	80,000	29,000	48,100	2,900	789,896	712,480	667,083
一般会計	709,896	80,000	29,000	48,100	2,900	789,896	712,480	667,083
（款）商工費	709,896	80,000	29,000	48,100	2,900	789,896	712,480	667,083
（項）観光費	709,896	80,000	29,000	48,100	2,900	789,896	712,480	667,083
（目）観光費	709,896	80,000	29,000	48,100	2,900	789,896	712,480	667,083

1 予算議案（スポーツランド推進課：令和7年度宮崎県一般会計補正予算（第1号））

令和7年6月補正歳出予算説明資料【一般会計（事項別）】 スポーツランド推進課

（単位：千円）

目	事項					
	補正額	事項名	補正前の額	補正額	説明及び事業名	補正後の額
観光費	80,000	スポーツランドみやざき推進事業費	636,515	80,000	スポーツランドみやざきを推進するために要する経費【国庫補助決定等に伴う補正】 [新] 1 木崎浜海岸サーフィン環境整備事業 58,000 (国1/2 県1/2) 2 大規模合宿・キャンプ等受入体制整備事業 22,000	716,515

新 木崎浜海岸サーフィン環境整備事業

スポーツランド推進課 58,000千円

【財源：国庫、県債、一般財源】

事業の目的

多くのサーファーが訪れる木崎浜へのアクセス道路となっている河川堤防を整備し、安全性を確保するとともに、大規模大会開催時は駐車場不足が課題であるため駐車場を整備し、受入環境を整えることで更なるサーフィンでの誘客を図る。

事業の概要

(1) 事業内容

- ① アクセス道路となっている河川堤防の整備
R7堤防耐震設計 40,000千円
- ② 木崎浜サーフィンセンター駐車場整備（約200～250台）
R7設計 18,000千円

(2) 事業の仕組み 県実施

(3) 成果指標

サーフィンの聖地みやざきのブランド力の向上
ワールドサーフィンゲームスなどの国際大会の誘致
木崎浜利用者数 現状（令和3年度）約21.4万人
→ 令和9年度 約26.4万人

(4) スケジュール

- ① R8堤防拡幅工事・舗装（加江田川沿道→木崎浜） R9堤防拡幅工事・舗装（清武川沿道→木崎浜）
- ② R8駐車場整備工事（堆積した砂の除去、舗装など）



事業の期間

令和7年度～令和9年度

大規模合宿・キャンプ等受入体制整備事業

スポーツランド推進課 22,000千円(補正後額 54,940千円)
【財源:宮崎再生基金】

事業の目的（補正分）

国内外代表合宿受入実行委員会に対して、侍ジャパンの秋季キャンプ受入に係る費用を負担するとともに、ツール・ド・九州を契機とする合宿等の誘致に向けたトップセールスを行う。

事業の概要

(1) 事業内容

- ① ライドシェア導入事業 2,940千円（補助率 1 / 3 以内）
大規模合宿・キャンプ等の開催期間中におけるタクシー不足を解消するため、「日本版ライドシェア」の仕組みを活用し、一般ドライバーによる旅客運送の導入を行う。
- ② 国内外代表合宿受入実行委員会等への負担金 22,000千円（補正後合計額：52,000千円）
侍ジャパン宮崎キャンプの運営（誘客、交通対策）等に係る経費を、運営する国内外代表合宿受入実行委員会等へ負担する。
※当初 30,000千円（WBC大会前のキャンプ受入経費：合宿開催誘致中）
6月補正 22,000千円
 - 15,000千円（ラグザス日韓戦前のキャンプ受入経費：11月6日～12日）
 - 7,000千円（ツール・ド・九州を契機とするトップセールスに要する経費）

(2) 事業の仕組み

- ① 県  タクシー協会（タクシー会社）
- ② 県  国内外代表合宿受入実行委員会等

(3) 成果指標

侍ジャパン宮崎キャンプ観客数	現状（令和4年度）180,002人	→	令和7年度 340,000人
国内外代表のキャンプ受入数	現状（令和6年度）8チーム	→	令和8年度 20チーム

事業の期間 令和7年度

2 報告事項（令和6年度宮崎県繰越明許費繰越計算書）

令和6年度宮崎県繰越明許費繰越計算書（一般会計）

商工政策課、企業振興課、雇用労働政策課、企業立地課
観光推進課、スポーツランド推進課、国際・経済交流課

（単位：円）

款	項	事業名	翌年度繰越額
商工費	商業費	県内事業者の「稼ぐ力」強化支援事業	242,330,000
商工費	商業費	プレミアム付商品券等発行事業	590,400,000
商工費	工鉱業費	特別高圧電気料金激変緩和事業	224,624,000
商工費	工鉱業費	ものづくり企業物価高騰対策設備等改修支援事業	101,742,000
商工費	工鉱業費	工業技術センター設備改修事業	34,213,000
労働費	労政費	賃上げにつながる職場環境整備支援事業	4,334,000
商工費	工鉱業費	半導体関連企業誘致加速化事業	17,600,000
商工費	工鉱業費	みやざきの未来を創る企業立地セミナー事業	3,689,000
商工費	観光費	「行きたくなる宮崎へ」ひなたの観光発信事業	42,812,000
商工費	観光費	スポーツツーリズムインバウンド強化事業	10,460,000
商工費	商業費	～焼酎を世界の宝に～宮崎の本格焼酎魅力発信事業	32,968,000
商工観光労働部計 11事業			1,305,172,000

2 報告事項（令和6年度宮崎県繰越明許費繰越計算書）

令和6年度宮崎県繰越明許費繰越計算書（特別会計）

観光推進課

（えびの高原スポーツレクリエーション施設特別会計）

（単位：円）

款	項	事業名	翌年度繰越額
商工費	観光費	県営えびの高原スポーツレクリエーション施設整備事業	50,268,000
商工観光労働部計 1事業			50,268,000

3 その他報告事項（令和6年度の企業立地の状況について）

令和6年度の企業立地の状況について

企業立地課

1 実績

企業立地件数：18件（前年度比△5件）

2 業種毎の立地件数・雇用者数の推移（過去5年）

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
各年度実績		39件	30件	43件	23件	18件
		1,197人	900人	1,220人	1,268人	1,146人
業種別内訳	製造業	16件	10件	16件	11件	11件
		372人	258人	438人	748人	579人
	情報関連産業	17件	13件	18件	7件	6件
		668人	471人	574人	437人	556人
	流通関連業	5件	7件	9件	5件	1件
		149人	171人	208人	83人	11人
	試験研究機関	1件	0件	0件	0件	0件
		8人	0人	0人	0人	0人

上段：立地件数
下段：雇用者数

3 令和6年度の企業立地の状況と主な特徴

(1) 前年度を下回る結果となった主な要因は、次のとおり。

- ① 立地件数の一定数を占めていた「コールセンター」を誘致対象業種から除外したこと
- ② 認定要件の対象となる従業員の数及び給与水準の引き上げを図ったこと

(2) 令和5年度に引き続き、大規模立地案件（※）が1件あり、また、半導体関連産業やフードビジネス関連産業等の重点産業分野の案件が14件あった。また、雇用者数は前年度と同水準となり、雇用の創出をはじめとする地域経済の活性化に寄与することができた。

(3) 地域別では9市町で立地認定を行った。

（※）投資額150億円超かつ雇用者数101人以上の立地案件

3 その他報告事項（令和6年度の企業立地の状況について）

4 令和6年度立地企業一覧

企 業 名	業 種	市町村	本社	雇用予定(人)	事 業 内 容
旭化成(株) 令和6年4月26日認定	□ 製造業 ◎	日向市	東京都	16 (119)	バッテリーセパレーターの製造及び販売など
丸栄宮崎(株) 令和6年4月26日認定	製造業 ◎	宮崎市	宮崎市	3 (11)	自動車部品製造に関わる工程開発・試作及び 金型開発・製作など
東郷メディキット(株) 令和6年4月30日認定	製造業 ◎	日向市	東京都	1 (11)	医療機器(人工透析用留置針、静脈用留置針)の製造
(有)ユタカ商会、(有)すえやま 令和6年5月31日認定	製造業 ◎	高原町	高原町	5 (11)	菓子の製造
(株)友人 令和6年6月28日認定	製造業 ◎	都城市	都城市	8 (12)	ペットフードの製造
グローバルインベーションコンサルティング(株) 令和6年7月19日認定	○ 情報関連産業	宮崎市	東京都	100 (400)	ソフトウェア受託開発
(株)みやざきサンミート季穰 令和6年8月9日認定	製造業 ◎	木城町	木城町	3 (8)	食肉加工及び販売
(株)SHADO 令和6年8月28日認定	○ 情報関連産業	宮崎市	東京都	6 (30)	ソフトウェアテスト、品質保証コンサルティング
タイムカプセル(株) 令和6年8月29日認定	情報関連産業 ◎	都城市	岐阜県	3 (11)	アプリケーション開発
(株)イートアンドフーズ 令和6年10月25日認定	○ 製造業	都城市	大阪府	120 (270)	冷凍食品の製造
業プロ(株) 令和6年10月31日認定	○ 情報関連産業	宮崎市	東京都	3 (44)	不動産業界向け物件管理システムの開発・企画・運営
(株)キョーリツ 令和6年12月25日認定	製造業 ◎	都城市	日南市	10 (22)	一般産業用機械及び部品加工・分解組立据付
吉川工業アールエフセミコン(株) 令和6年12月25日認定	製造業 ◎	新富町	新富町	7 (35)	半導体製品とその応用機器の後行程(テスト・組立)受託など
SCSKニアショアシステムズ(株)、SCSK(株) 令和7年1月31日認定	情報関連産業 ◎	宮崎市	東京都	10 (62)	システム開発
(株)中央運送 令和7年2月14日認定	流通関連産業 ◎	都城市	都城市	2 (11)	一般貨物自動車運送業
(株)黒木鉄工所 令和7年3月7日認定	製造業 ◎	門川町	門川町	5 (12)	バイオマス発電向け製造関連装置・機械部品の製造 及び加工
(株)ThinkOne 令和7年3月14日認定	○ 情報関連産業	日南市	福岡県	1 (9)	ソフトウェアの開発及びサービス提供
計 18件(※)				317(1,146)(※)	

(1) 企業名欄の○印は県外新規、□印は大規模立地案件

(2) 業種欄の◎印は増設

(3) 雇用予定の()内は最終雇用予定数

(4) 親会社がある場合の本社欄には、親会社の所在地を記載

(5) ※印は非公表案件1件を含む

3 その他報告事項（2025大阪・関西万博における九州7県合同催事について）

2025大阪・関西万博における九州7県合同催事について

観光推進課

1 出展概要

(1) 催事日程

令和7年9月3日（水）～9月5日（金）
※9月3日（水）に九州7県知事による
オープニングセレモニーを予定

(2) 場所

EXPOメッセ「WASSE」North（広さ2,000㎡）

(3) 全体コンセプト

九州の宝を世界へ — Treasure Island KYUSYU —

(4) 来場者想定

3日間延べ／目標来場者数約34,200名
（うち、インバウンドは4,104名の予想（12％））



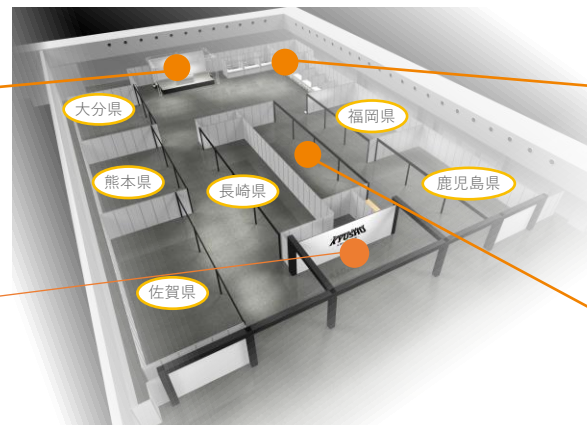
共通イベントスペース

本県イベントの予定

- ・神楽の舞の披露
- ・著名人によるPRイベント
- ・みやざき犬のダンス など

共通観光PRブース

- ・大型ビジョンでの7県
オリジナル動画の放映
- ・共通の観光案内所の設置



共通食PRブース

- ・「九州宝弁当」の販売
※各県からのご当地メニュー
を一つの弁当にして提供

宮崎県ブース

- ・広さ約90㎡
（各県ほぼ同じ面積）
- ・次ページに展開イメージ

3 その他報告事項（2025大阪・関西万博における九州7県合同催事について）

2 宮崎県ブースについて

(1) 内容

ブース内に「神話・自然・森林」、「観光・スポーツ」、「食・焼酎」3つのエリアを設け、各テーマ毎に本県の魅力を紹介する。

(2) 各エリア毎の主な実施内容（調整中）

- ① 「神話・自然・森林」 … 神話の世界観を表現した装飾、神楽のVR体験、神楽衣装の着付け体験
- ② 「観光・スポーツ」 … PR動画の放映、観光VR体験、ユニフォームやグッズの展示、国スポ・障スポのPR
- ③ 「食・焼酎」 … 宮崎牛や地鶏のふるまい、蔵元による本格焼酎の試飲・販売、県産品の販売

※イメージ（ブースの施工については県産木材を使用）



次期指定管理候補者の選定について（宮崎県屋外型トレーニングセンター）

スポーツランド推進課

1 現在の管理運営状況について

(1)施設の概要

- ① 施設名 宮崎県屋外型トレーニングセンター
- ② 設置目的 「スポーツランドみやざき」の更なる推進に向け、国内外のトップアスリート等の合宿拠点とするとともに、県内アスリートの競技力向上やキャンプ誘致による観光の振興・経済の活性化を図る。
- ③ 指定管理者 シーホース宮崎（（株）馬原造園建設、フェニックスリゾート（株）、（株）MRTアド）
- ④ 指定期間 令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）

(2)施設利用状況

指 標	令和5年度	令和6年度	増 減
施設利用人数（単位：人数）	30,638	27,363	-3,275
利用料金収入（単位：千円）	11,631	16,541	+4,910

【主な利用団体等】ラグビー日本代表、ラグビーリーグワンチーム、Jリーグチーム、社会人陸上部 など

(3)施設収支状況

（単位：千円）

内 容		令和5年度	令和6年度
収 入(a)		66,383	69,910
指定管理料		52,800	52,800
利用料金		11,631	16,541
エネルギー価格高騰分県負担額		1,952	569
支 出(b)		68,699	75,592
人件費		13,426	15,167
光熱水費		6,852	8,847
施設維持管理費（芝管理肥料・資材費用、機器賃借料 等）		20,880	23,366
施設運営管理費（施設管理委託料、消耗品、通信運搬費 等）		25,864	24,080
利用料金納付金		1,677	4,132
収支差額(a-b)		-2,316	-5,682

(4)利便性やサービス向上、利用者増の取組

- ① 国内トップクラスの施設環境整備による年間を通したプロチームや代表チームの合宿受入
- ② トラックの個人利用許可など、プロ・アマ問わず幅広い施設利用に向けた運用
- ③ リーグチーム等を講師としたスポーツ教室の開催等による地域振興に向けた取組

(5)評価

年間を通して高い水準でグラウンド等の施設の維持管理がなされ、ラグビー日本代表をはじめ、多くのプロ・アマチームの合宿を受け入れており、本施設の運営が「スポーツランドみやざき」の推進に大きく貢献していると評価出来る。

一方で、施設維持管理に関する費用等が想定以上となり赤字決算となっている。

2 次期の募集方針について

(1)業務の範囲

- ① 施設の利用に関する業務（利用の受付・許可、料金設定 など）
- ② 施設の維持及び保全に関する業務（建築物保守管理、グラウンド保守管理 など）
- ③ その他管理運営に必要な業務（大会・合宿運営補助、自主事業の実施 など）

(2)指定期間 令和8年4月1日～令和13年3月31日（5年間）

(3)基準価格 年額52,663千円（指定期間総額263,315千円）

※今期と比較し年額137千円の減

(4)利用料金収入（見込）年額14,987千円

※今期と比較し年額6,712千円の増

(5)募集概要

- ① 期 間 令和7年7月7日～9月8日（約2か月）
- ② 説明会 令和7年8月上旬予定
- ③ 広 報 県公報、県ホームページ、経済団体の会報等

(6)選定**① 審査の流れ**

審査区分	構 成	内 容
書類審査（9月中旬）	県（施設所管課）	申請書類に基づいて資格審査を実施
指定管理候補者選定委員会による審査（10月上旬）	外部委員のみで構成	書類審査を通過した応募者を対象に、各応募者のプレゼンテーション及びヒアリングを行い、審査を実施
指定管理候補者選定会議による確認（10月上旬）	県（施設所管部局及び指定管理者制度所管部局）	選定委員会の審査結果を、施設所管課において選定基準等に基づき評価した結果と照らし合わせ、候補者（案）が異なっていないかを確認

※指定管理候補者選定会議の確認後、県が指定管理候補者を選定する。

② 指定管理候補者選定委員会委員

委員長	杉山 智行	宮崎大学地域資源創成学部教授
委 員	矢野 将大 石田 喜克 松山 茂 中村 景子	宮崎市スポーツランド推進課長 公益財団法人宮崎県スポーツ協会理事 一般社団法人宮崎県商工会議所連合会事務局長 公認会計士

③ 指定管理候補者選定会議委員

議長	商工観光労働部長	委 員	商工政策課長 観光推進課長 スポーツランド推進課長 行政改革推進室長
副議長	観光経済交流局長		

(7)選定基準

- ① 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が確保されるものになっていること。
- ② 事業計画書の内容が、施設の効用を最大限に発揮するものになっていること。
- ③ 事業計画書の内容が、管理運営に係る経費の縮減に努めるものになっていること。
- ④ 事業計画書の内容を確実に実施するために必要な管理運営能力を有していること。
- ⑤ 事業計画書の内容が、地域貢献に資するものになっていること。

(8)審査項目・配点

選定基準	審査項目	配点(点)
① 住民の平等な利用の確保等	施設運営に関する基本方針 県が示した管理の基準に対する理解及び対応 住民の平等な利用の確保に関する提案	10
② 施設の効用を最大限に発揮する事業計画	利用者サービスの向上及び利用者増への取組に対する提案 利用者満足度把握や苦情・要望対応、運営改善への反映 施設の設置目的の理解と課題の認識 指定管理者の業務に対する意欲 施設等の維持管理の適格性 プロスポーツ・トップアスリートのキャンプ等の受入についての提案	35
③ 経費の縮減等	指定期間内に県が支払う指定管理料の提案額 業務遂行のための適切な経費の積算 管理業務の効率化と経費の縮減に関する考え方・提案	10
④ 事業計画を着実に実施するための管理運営能力	必要な体制の確保（適正な組織、人員配置、責任体制） 職員の能力育成（研修体制） 継続的に安定した運営が可能な財政的基盤（経営状況） 過去の類似事業の実績、評価 事業計画及び収支計画の具体性、適格性、実現可能性 競技団体や関係機関との連携の確保 個人情報保護への対応、情報公開への対応 事故・災害等への対応（安全管理、危機管理体制の確立）	30
⑤ 地域への貢献等	地域資源を活用した運営及び地域経済・観光に資する運営 地域の住民や県内のスポーツ団体、福祉団体などの関係団体等との連携・交流 障がい者や更生者の就労支援への対応 環境保全への取組	15
合 計		100